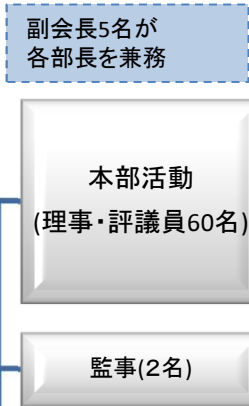


市川手をつなぐ親の会 組織図

2017.11現在

- ・総務部
会および会員全体に関すること。
総会・理事評議員会等の会議運営。
- ・事業部
各種行事の企画・運営に関すること。
- ・経理部
諸会計に関すること。
- ・広報部
広報活動に関すること。
- ・生活支援部
福祉サービスの拡充に関すること。
関係する委員会の企画・運営。
一路会・いちばん星との連携。



監事は、本会の会計を監査し、総会に報告する



学齢委員会
平成26年度新設の組織。

- ・教育・療育に関する取り組みの位置づけを確立する。
- ・支援学校と支援学級の連携を強める。
- ・「学齢委員会」は、親の会評議員と、もともとあった「学齢期を考える会」「特学父母会」等で構成。20名程度で構成。

私たちの会の組織

昭和28年(1953年)結成とれました。
子どもを特別支援学級や特別支援学校、施設や作業所に通わせている市川市内の家族のほとんどが入会しています。
就職している人や、入所施設で暮らしている人の家族の多くも会員です。

会員数は現在900名を超えました。

各所属から役員を出して、色々な段階の声が集約できるように、また会員に情報が伝わるようにしています。

役員
会長 1名、副会長 5名、理事若干名、評議員若干名、監事 2名

ぶどうの木、親子クッキー作りの会、なのはな、ポテトクラブなどの放課後・休日活動のグループ

